

2025年5月27日

第148回全国大学国語教育学会・三重大会 第2次案内

第148回全国大学国語教育学会三重大会実行委員会

1. 開催日 2025(令和7)年6月28日(土)~6月29日(日)

※公開講座は6月22日(日)にオンラインで開催

2. 会場 三重大学 上浜キャンパス(〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577)

3. 日程

| 第1日 6月28日(土) | | 第2日 6月29日(日) | |
|--------------|--------|--------------|--------------------|
| 8:45 | 受付 | 9:00 | 受付 |
| 9:30 | 自由研究発表 | 9:30 | 課題研究発表 |
| 12:20 | 昼食 | 12:00 | 昼食 |
| 13:00 | 理事会 | 12:30 | 若手研究交流企画 |
| 14:00 | 総会 | 13:40 | 自由研究発表 ラウンドテーブル |
| 15:10 | シンポジウム | 16:30 | |
| 17:40 | | | |
| 18:30 | 懇親会 | | |
| 20:30 | | | |

※公開講座は6月22日(日)
14:00~17:00 オンライン開催

4. プログラム

※自由研究発表・ラウンドテーブルのタイトル、発表者・コーディネーター・登壇者氏名、所属は原則として本人登録時の内容をそのまま転記しています。

【第1日 6月28日(土) 午前の部】

◎ 自由研究発表 9:30~12:20 発表20分 質疑応答10分 接続時間5分

第1会場 司会:小川雅子(山形大学) 余郷裕次(鳴門教育大学)

場所:共通教育校舎1号館2階202教室

1-1 カンファレンスの展開を促す発話の事例分析

加藤好広(兵庫教育大学大学院・院生/愛知県立東浦高等学校)

1-2 話し合いにおける学習者研究の成果と課題

遠藤清将(宝仙学園中学校・高等学校)

1-3 昭和53年版学習指導要領下の高等学校における「話すこと・聞くこと」

—「国語Ⅰ」・「国語Ⅱ」・「国語表現」—

小川一美(東京学芸大学附属国際中等教育学校)

1-4 1990年代の音声言語指導観

—埼玉高国研『音声言語指導事例集(第1集)』の分析から—

熊谷芳郎(聖学院大学)

1-5 話し言葉教育に対する学習者の意識について

—大学生を対象とした意識調査をもとに—

秋山英治(愛媛大学)

第2会場 司会:幸田国広(早稲田大学) 宮本浩治(岡山大学)

場所:共通教育校舎1号館2階203教室

2-1 高等学校国語科における和歌教材の調査研究(1)

—1951年版及び1956年版学習指導要領にもとづく教科書について—

三谷昌士(國學院大學大学院・特別研究生)

2-2 エージェンシーを育てる古文の学習に関する一考察

板垣光樹(広島大学大学院・院生)

2-3 平仄・韻目に着目した漢詩構造の指導

樋口敦士(狭山ヶ丘高等学校)

2-4 コンピテンシーベース時代の教育における漢文教材の価値の再検討

—現行教科書所収の「文」ジャンルの教材を中心に—

山田和大(尾道市立大学)

2-5 文化的実践としての古典学習

—文学研究者文化への橋渡しを目指して—

武久康高(高知大学)

第3会場 司会:吉川芳則(神戸女子大学) 児玉忠(宮城教育大学)

場所:共通教育校舎1号館2階205教室

3-1 ショート・ショートの教材化に関する基礎的研究(2)

—民話作品の活用の可能性—

常塚優里(京都教育大学・研究生)

3-2 韻文のリズムを内在化させる「短歌・俳句」の音読指導(2)

—拍子における規範性と条件—

廣田鉄平(横浜市立万騎が原小学校)

3-3 生きづらさを抱えた少年たちにとっての「詩の授業」

—詩の創作と読み合いの意義と可能性—

加藤恵美子(桃山学院大学)

3-4 読むことの学習における実践共同体を単位とした評価の構想

—共同体形成過程に関する一考察—

木村穂乃香(鳥取大学)

3-5 哲学対話の中学校国語科/化

—「読むこと」と「話すこと・聞くこと」の連関—

松島恒熙(信州大学)

第4会場 司会:住田勝(大阪教育大学) 丹藤博文(愛知教育大学)

場所:共通教育校舎1号館2階217教室

4-1 芥川龍之介小説教材の授業実践研究

—「羅生門」を中心に—

柴田雅音(青山学院大学大学院・院生)

4-2 国語教科書の中の〈戦争〉

—井伏鱒二『黒い雨』を中心に—

田中英美(早稲田大学大学院・院生)

4-3 システムと生きる文学教育

—ニクラス・ルマンの社会システム理論を援用した授業理論と実践—

山中勇夫(広島大学附属小学校)

4-4 学習者が主体的・探究的に読みを創造する国語授業の創造

—「モチモチの木」を題材として—

長屋樹廣(北海道教育大学釧路校)

4-5 解釈の競合を目的とした文学の読み

—第6学年「帰り道」を扱った学習を事例として—

西田太郎(玉川大学)

中島愛梨(世田谷区立等々力小学校)

第5会場 司会：佐野比呂己(北海道教育大学) 山元隆春(広島大学)

場所：共通教育校舎Ⅰ号館3階301教室

5-1 文学教材における少人数グループでの読みの合意形成過程の検討

— 中学1年「小さな手袋」の実践を通して—

苅野大志(兵庫教育大学大学院連合・院生)

5-2 物語文の理解を促進する「話し合い」の要件

— 話し合いによる集団思考は個人のテキスト理解の進展にどのように貢献するか—

酒井千春(広島大学大学院・学生)

5-3 文学作品の読解における「語り」に着目した学習デザイン

— 「こわれた千の楽器」の実践から—

武田純弥(南魚沼市立中之島小学校)

5-4 物語を読み深める〈問い〉づくりの学習デザイン

— 一年間の単元を通じた児童の思考や変容に着目して—

渡辺優菊(品川区立八潮学園)

5-5 文学の作品構造と文学体験を生かした高校国語科の授業

— 社会批判の眼を育てることを目指した文学国語「葉桜と魔笛」の授業実践から—

高橋茉由(秋田大学)

今田奈緒(広島修道大学ひろしま協創高等学校)

第6会場 司会：長田友紀(筑波大学) 府川源一郎(横浜国立大学)

場所：共通教育校舎Ⅰ号館3階303教室

6-1 中学校国語科における、論理的に書くために読む力の育成

— 授業開発とその効果検証の試み—

渡辺真由美(埼玉県越谷市立武蔵野中)

6-2 中学校国語科における「書くこと」の学習での評価指導の研究

— 小論文の評価の観点と評価実践の考察をもとにして—

西山明人(東京農業大学第三高等学校附属中学校)

6-3 論文作成(高校生)の学習指導法における一考察

— 「分析装置」と「分析対象」という捉え方—

小泉尚子(中央大学杉並高等学校)

6-4 高等学校国語教科書における論理的文章を「書くこと」教材の分析

— 「推敲、共有」の学習過程を中心に—

片田智香子(愛知県立鳴海高等学校、名古屋市立大学人間文化研究科)

6-5 「論理国語」の「書くこと」の授業研究

長谷川祥子(青山学院大学)

第7会場 司会:藤森裕治(文教大学) 渡部洋一郎(上越教育大学)

場所:共通教育校舎Ⅰ号館3階304教室

7-1 「書くこと」指導における国語科と英語科の連携の可能性

—課題の整理と今後の展望—

栗原達也(桐朋中学校・高等学校 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科・院生)

7-2 読書と創作の連動を目指したワークショップ型授業の長期分析

—「本を読まない」生徒の声から—

生川開晴(東京学芸大学教職大学院・院生)

大澤和仁(学校法人市川学園中学・高等学校)

7-3 ことばで風土を見つめ直す方言詩鑑賞・創作ワークショップ

—方言と、それを話す「わたし」「わたしたち」について考えてみる—

永井ほのり(広島大学大学院)

高橋茉由(秋田大学)

7-4 公立小学校を対象とした地域の詩歌文集における男女の採択数の差に関する調査研究

明比宏樹(立命館大学)

7-5 「書くこと」における語り手を育む創作指導の基礎的検討

井口あずさ(甲南女子大学)

第8会場 司会:富安慎吾(島根大学) 中村和弘(東京学芸大学)

場所:共通教育校舎Ⅰ号館3階318教室

8-1 中学生の思考に関わる語句の使用に関する意識

—「ト思ウ」が多用された意見文に対する推敲から—

吉田史玖(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科/中野区立第七中学校)

8-2 国語科において育成したい「語彙学習力」の要素に関する研究

萩中奈穂美(福井大学)

8-3 児童・生徒が作文で使用する感情表現の縦断研究

加藤恵梨(愛知教育大学)

角谷昌範(愛知教育大学)

- 8-4 小学校国語科における文体意識へのアプローチ(1)
—今西祐行「ヒロシマのうた」「原子雲のイニシアル」の比較—

大谷航(尚絅学院大学)

- 8-5 漢字に関する学習内容についての検討
—「書き」に影響する要素の探索を中心に—

富安慎吾(島根大学)

第9会場 司会:中村敦雄(明治学院大学) 羽田潤(兵庫教育大学)

場所:共通教育校舎1号館4階402教室

- 9-1 道具・テクノロジーとの相互作用による詩創作活動の成立
—アクタネットワーク理論を視座として—

高岡佑希(神奈川県立逗子葉山高等学校)

- 9-2 教員養成でのICT活用指導による国語学力の理解深化・表現深化
—大学生の記述の検討を通して—
柳谷直明(札幌市立中央中学校 北海道教育大学札幌校)

- 9-3 「読む」と「見る」を相関させたマルチモーダル・テキストの鑑賞指導
—優里「レオ」の実践から—

松田明大(富山大学教育学部附属中学校)

- 9-4 複数テキストと図解化の融合による多層的読解指導の可能性

山田貴子(安田女子大学)

- 9-5 已野欣一氏の「国語科における『情報に関する能力』育成のための指導」について
—その歴史的意義と現代的価値—

米田猛(元・富山大学)

第10会場 司会:足立幸子(新潟大学) 間瀬茂夫(広島大学)

場所:共通教育校舎1号館4階403教室

- 10-1 After『In the Middle』(1987)におけるN.Atwellの揺らぎに関する一考
—初版から1991年にわたる実践群を通して—

高木公裕(吉野ヶ里町立三田川小学校)

- 10-2 日中国語教科書における教育目標の比較研究
—魯迅『故郷』の教師用指導書分析を中心に—

曹新雨(広島大学大学院・院生)

10-3 台湾における大学入試漢文問題の現状

—知識型からコンピテンシ・ベースへの移行を中心に—

赫至琪(広島大学大学院・院生)

10-4 台湾の優良学校図書館における読書指導の検討

足立幸子(新潟大学)

10-5 学生の肯定と授業者の批判のハイブリッド評価デザイン・「ラブレター」システムの評価

—学生の模擬授業へのフィードバックの新たな提案—

池田修(京都橘大学)

第11会場 司会:佐藤多佳子(上越教育大学) 細川太輔(元東京学芸大学)

場所:共通教育校舎1号館4階404教室

11-1 生徒が自己肯定感を高めることができる授業実践開発

—地域と連携した国語科の授業と教科横断的な探究活動を通して—

重田和希(群馬県立万場高等学校)

11-2 授業実践における学習参加者の学習体験の有様に関する分析

—国語科における創発カリキュラムの授業実践を対象として—

高野慎太郎(東京大学教育学部附属中等教育学校 自由学園中等部・高等部)

大石健斗(自由学園中等部・高等部)

11-3 〈ホット・シーティング〉が創造する学び

—全員演者型授業の臨床的分析から—

遠藤正笛史(福島大学附属中学校)

佐藤佐敏(福島大学)

11-4 慣習的な授業スタイルを変容させることで授業改善する国語科教師の経験世界へのナラティブ・アプローチ

—生徒主体のこぼの学びを尊重する教師の語りの分析から—

丸山範高(和歌山大学)

11-5 大村はまによる「個人差に応ずる実践と工夫」

—筑摩書房『大村はま国語教室』刊行過程における「第十五巻 大村試案」に関する考察—

田中耕司(島根大学)

◎ 昼食 12:20~13:00 (理事・シンポジストには事務局よりご用意します。)

◎ 理事会 13:00~14:00 会場:共通教育校舎1号館1階102教室

◎ 総会 14:00~15:10 会場:共通教育校舎1号館1階120教室

【第1日 6月28日(土) 午後の部】

◎ **シンポジウム 15:10~17:40**

会場:共通教育校舎 1号館 1階 120教室(サテライト会場:同 2号館 1階 190教室)

国語科教育の来し方・行く末

コーディネーター:植山俊宏(京都教育大学)

登壇者:明尾香澄(奈良教育大学)

勘米良祐太(武蔵野大学)

坂口京子(静岡大学)

ゲスト:金子淳(三重大学)

◎ **懇親会 18:30~20:30 会場:三重大学生協第1 食堂ホール**

【第2日 6月29日(日) 午前の部】

◎ **課題研究発表 9:30~12:00**

会場:共通教育校舎 1号館 1階 120教室(サテライト会場:同 2号館 1階 190教室)

大テーマ:国語科教育研究に求められる新たな「知」(第3回)

小テーマ:国語科授業における「実践知」の育成と継承

コーディネーター:甲斐伊織(学習院中等科)

登壇者:石井英真(京都大学)

勝見健史(兵庫教育大学)

高瀬裕人(琉球大学)

◎ **昼食 12:00~12:30**(課題研究発表関係者には事務局よりご用意します。)

◎ **若手研究交流企画 12:30~13:40 会場:共通教育校舎 1号館 3階 301教室**

【第2日 6月29日(日) 午後の部】

◎ **自由研究発表 13:40~16:30 発表 20分 質疑応答 10分 接続時間 5分**

第12会場 司会:丹藤博文(愛知教育大学) 中村和弘(東京学芸大学)

場所:共通教育校舎 1号館 3階 301教室

12-1 登場人物の思いと物語の魅力を言葉から読み取る児童の育成

—4年国語『ごんぎつね』を読む—

吉牟田幸子(刈谷市立朝日小学校)

12-2 文学の授業における子どもの「探究」的行為と何か

—チャルズ・サンダース・パス「アブダクション推論」と田中実「第三項論」を踏まえて—

黒瀬貴広(山梨大学教育学部附属小学校)

12-3 「海の命」における読みの一貫性形成の支援

上月康弘(松本大学)

12-4 「場」の成立をめざす試行錯誤の過程と指導構想の方略

—「走れメロス」の劇化学習における学習活動の検討過程を通して—

下田実(比治山大学)

12-5 荒木繁の文学教育論における主体の捉え方について

—1960年代を中心とした考察—

吉田雅昭(大谷大学)

第13会場 司会:足立幸子(新潟大学) 高木まさき((公財)教科書研究センター)

場所:共通教育校舎1号館3階303教室

13-1 ことばと向き合う高校国語学習(3)

—エッセイを「書くこと」を通して多様な学習者を包摂する授業研究—

田島美咲(京都教育大学大学院 院生/京都市立清明高等学校)

13-2 修辞ユニット分析による意見文の専門性と実践者による意見文作成過程の見取りについての考察

—5年生児童の書いた「動物の進化」の意見文についてのインタビューの分析を通して—

中尾聡志(兵庫教育大学連合大学院・院生 熊本市立健軍東小学校)

13-3 「共同」を取り入れた綴り方指導が目指したものとその実際

赤荻千恵子(早稲田大学非常勤講師)

13-4 児童はいかに「自分らしさ」を文章にするか

—性格特性のビッグファイブを手がかりにした自己記述の分析を通して—

成家雅史(相模女子大学)

13-5 中学生の手書き作文と打ち込み作文の経年比較

河内昭浩(群馬大学)

第14会場 司会:植山俊宏(京都教育大学) 奥泉香(東京学芸大学)

場所:共通教育校舎1号館3階304教室

14-1 国語科読書指導における〈本にばったり出会うこと〉の意義

永井颯人(北海道教育大学大学院・院生)

14-2 国語科における自己と社会をつなぐ読みの検討

—「想像力のスイッチを入れよう」の実践を手がかりに—

南咲貴子(関西学院大学大学院・研究員)

- 14-3 高等学校言語教材の学習に関する一考察
—「ものことば」(鈴木孝夫)について—

高山実佐(國學院大學)

- 14-4 問いの生成・決定における説明文・物語文の差異
—一年間の国語学習サイクルの実践を通して—

香月正登(梅光学院大学)

白坂洋一(筑波大学附属小学校)

小泉芳男(広島県広島市立袋町小学校)

古沢由紀(大阪府大阪市立柏里小学校)

木原陽子(山口県長門市立仙崎小学校)

森一滋(福岡県教育庁筑豊教育事務所)

- 14-5 国語科の主体的学びを支援する、教科書との往還的活用をデザインしたデジタル学習材
の開発と検証

宮本淳子(東京学芸大学)

奥泉香(東京学芸大学)

小森一輝(同志社大学大学院)

阿部由美(東京学芸大学附属世田谷中学校)

篠遠早紀(長野県飯田高等学校)

第15会場 司会:羽田潤(兵庫教育大学) 間瀬茂夫(広島大学)

場所:共通教育校舎1号館4階402教室

- 15-1 演劇的創造過程の記号接地が拓く文学機能論

—AI時代に「走れメロス」を創る生徒の青春物語II—

梁梨花(慶應義塾大学大学院・院生)

- 15-2 生成AIによる物語教材への学習支援の可能性

應供亮生(兵庫教育大学大学院・院生)

緒方思源(兵庫教育大学)

小川修史(兵庫教育大学)

- 15-3 中学校における生成AIを活用した物語性のある鑑賞文づくりの研究I

—楽しくつくる「旅の絵本」『大村はま国語教室第六巻』の応用—

村田真樹(広島市立美鈴が丘中学校)

- 15-4 論理国語において、生徒がどのようにAIを使用して自分のものにしていったのか

田山地範幸(名古屋経済大学市邨中学校高等学校)

- 15-5 生成 AI 時代の無意識の知覚
—絵本モンタージュ理論を題材に—

黒田麻衣子(国立情報学研究所)

第 16 会場 司会:坂口京子(静岡大学) 府川源一郎(横浜国立大学)

場所:共通教育校舎 1 号館 4 階 403 教室

- 16-1 大正自由教育における子どもの読書文化圏

稲井達也(大正大学)

- 16-2 昭和 10 年代中期における小学語法教授に関する議論の位置づけ

—松尾捨治郎と輿水実の提起とその受け止めを中心に—

松崎史周(国士舘大学)

- 16-3 戦前期における語感・言語感覚の系譜

笹平真之介(盛岡大学)

- 16-4 戦前期中等学校国語科教科書に関する通史的研究

—吉田彌平編纂の高等女学校読本における古典教材の採録状況を中心に—

小笠原拓(鳥取大学)

- 16-5 戦後国語教育史上における文学読本『はぐるま』の位置付け

皆尾賛(愛媛大学)

第 17 会場 司会:寺井正憲(元千葉大学) 宮本浩治(岡山大学)

場所:共通教育校舎 1 号館 4 階 404 教室

- 17-1 貧困家庭を生きる子どものリテラシーに関する研究

森川蓉子(関西学院大学大学院・院生)

- 17-2 「外」へひらかれた国語科平和教育の授業

—小学 5 年「たずねびと」を中心に—

塚本彩乃(西宮市立 小学校教員)

- 17-3 中学生を対象とした建設的な批判的統合を促す学習指導の検討

—根拠と再反論の再検討に焦点をあてて—

村井隆人(大阪教育大学)

- 17-4 探究的態度育成とプレゼン演習

—〈類似〉の連続と変化—

齋藤隆彦(神戸親和大学)

17-5 国語教育における「主体」形成と「論理」

佐藤宗大(玉川大学)

◎ ラウンドテーブル 13:40~16:30 (終了時刻は最も長い場合です。)

R-1会場 場所:共通教育校舎 1号館 2階 202 教室

タイトル:書写指導の現状・問題点と国語科における位置づけの再確認

—国語科の教科構造の再編に係わる問題提起—

コーディネーター:千々岩弘一(鹿児島国際大学)

登壇者:鈴木慶子(長崎大学)

竜田徹(佐賀大学)

鈴木貴史(帝京科学大学)

R-2会場 場所:共通教育校舎 1号館 2階 203 教室

タイトル:「絵本」に結実する創造的言語活動

—「読む」と「創る」の往還—

コーディネーター:佐野比呂己(北海道教育大学)

登壇者:村上呂里(琉球大学)

長屋樹廣(北海道教育大学)

高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)

椿山美紀(川崎市立宮前平中学校)

福田環(北海道釧路明輝高等学校)

R-3会場 場所:共通教育校舎 1号館 2階 205 教室

タイトル:多言語化する社会を生きる「ことばの力」の育成

—複言語・複文化主義と国語(科)教育・研究との接点を求めて—

コーディネーター:石田喜美(横浜国立大学)

登壇者:丸田健太郎(広島大学附属小学校)

金志唯(広島大学大学院・院生)

市川章子(国立国語研究所)

R-4会場 場所:共通教育校舎 1号館 2階 217 教室

タイトル:国語 × 英語

—ことばの力を育むために(実践編)—

コーディネーター:柁木貴之(北海学園大学)

登壇者:大井和彦(信州大学)

對馬光揮(札幌藻岩高等学校)

石井明子(新宿高等学校)

那須充英(奈良女子大学附属中等教育学校)

三浦永理(青翔開智中学校・高等学校)

R-5会場 場所:共通教育校舎Ⅰ号館3階305教室

タイトル:「なってみる」の可能性を探る

—子どもだけでなく教師にとっての演劇的手法やインプロの意義—

コーディネーター:渡辺貴裕(東京学芸大学)

登壇者:園部友里恵(三重大学)

郡司厚太(高崎市立箕輪小学校)

R-6会場 場所:共通教育校舎Ⅰ号館3階318教室

タイトル:読書行為の多様性に対応する発達モデルに基づく包括的学習支援アプローチの開発と
検証

—初発の読者反応分析を手がかりとして—

コーディネーター:住田勝(大阪教育大学)

登壇者:山元隆春(広島大学)

富安慎吾(島根大学)

砂川誠司(愛知教育大学)

幾田伸司(鳴門教育大学)

山元悦子(福岡教育大学)

守田庸一(三重大学)

◎ 公開講座 6月22日(日) 14:00~17:00 (Zoom ミーティング)

テーマ:研究にもとづく授業づくり② —古文教材を素材として—

司会・進行:池田匡史(岡山大学)

話題提供者:八木雄一郎(信州大学)

菊野雅之(早稲田大学)

有馬義貴(奈良教育大学)

井浪真吾(京都外国語大学)

※公開講座は、学会の大会当日とは異なる日程で開催します。

※公開講座は、Zoom ミーティングで実施します。事前の申し込みが必要となりますが、詳細については[広報サイト](#)でお知らせします。

※公開講座にのみ参加する場合には、学会全体への参加申し込みは必要ありません。

(無料で参加することができます。)

※公開講座に関する情報は広報サイトに随時更新していきます。

※プログラム作成は入念に行っておりますが、万一誤植等がありました場合は、大会事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

三重大会事務局 E-mail:morita@edu.mie-u.ac.jp (守田)

5. ご参加にあたって留意点(重要)

- 参加申込等の詳細については[一次案内](#)をご覧ください。
[三重大会特設サイト](#)からも情報を得られます。
- 会場までは公共交通機関をご利用ください。
[三重大学への交通アクセス](#) [三重大学のキャンパスマップ](#)
- 当日、現金でお支払いできません。
領収書は「[発表・参加申込システム](#)」の「領収書自動発行」から発行することができます。

[参加者の方へ]

- 「[発表・参加申込システム](#)」の「[参加証自動発行](#)」から参加証を印刷の上、ご持参ください。
- 当日資料については、後日メールでお知らせする「[大会資料サイト](#)」にてご案内します。参加者用のIDとパスワードをお知らせしますので、各自で入力してサイトに接続の上、ダウンロードして参照してください。大会参加時には、PCもしくはタブレット端末を持参されることをお勧めします。
- 学内ネットワークをご利用いただくことができません。PC等で資料をご覧になる方は、事前にダウンロードしていただくか、モバイル Wi-Fi などをご持参ください。
- PC等は事前に充電をしてからご参加ください。

[発表者の方へ]

- パソコンは発表者持ち込みにてお願いいたします。HDMI ケーブルを用意します。アップル社の MAC やマイクロソフト社の Surface など、コネクタ形状が異なるパソコンで接続する場合、**必ず接続アダプターをご持参ください** (例年、接続アダプターを持参していないことによるトラブルが起きています)。
※第1次案内で「会場によって RGB か HDMI のいずれかで接続することになりますので、必ず両方の接続アダプターをご準備ください」とお伝えしましたが、会場の準備状況を受けてこれを訂正します。上記の通り会場には HDMI ケーブルを用意します。既に RGB と HDMI の両方をご準備くださった方におかれましては、どうかご容赦ください。
- 紙の当日資料は **100部**を作成し、発表当日、発表会場(教室)までお持ちください。
- 当日資料のアップは任意とします。近年、PCやタブレット端末での資料閲覧を希望される方も増えておりますので、できれば事前に資料をアップしていただくと幸いです。
- 当日資料は、できれば発表前日までにアップしてください(事前にダウンロードや印刷をされる方もいらっしゃいます)。提出先は改めてお知らせします。なお、資料を掲載するサイトにはパスワードを設定する予定ですが、強力なものではありません。学習者等の個人情報や著作権に関する取り扱いにご注意ください。
- 大会事務局では印刷などの対応を一切いたしません。また2日目の資料を1日目にお預かりすることもできません。

[要旨集について]

事前に紙媒体の『発表要旨集』をご注文いただいた方には、大会当日までにご登録くださった住所に直接送付される予定になっております。また、『発表要旨集』につきましては、上記に加えて大会申込者全員に PDF 版をダウンロードしていただけるようにする予定です。ダウンロードの方法については改めてメールにてお知らせいたします。

6. お問い合わせ先

■参加・発表申込・原稿投稿・諸費用に関すること

全国大学国語教育学会大会ヘルプデスク

E-mail:jtsj-desk@conf.bunken.co.jp

FAX:03-5227-8632

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

■年会費に関すること

全国大学国語教育学会事務局

E-mail:jtsj-post@bunken.co.jp

TEL:03-6824-9377 FAX:03-5227-8631

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

■第148回全国大学国語教育学会三重大会に関すること

三重大会事務局

E-mail:morita@edu.mie-u.ac.jp

TEL:059-231-9213

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学教育学部国語教育講座 守田庸一 宛

※お問い合わせはEメールでお願いいたします。

■三重大会実行委員会

大会実行委員長 守田 庸一 三重大学

事務局長 片山有梨世 三重大学

実行委員 林 朝子 三重大学

猪口 純一 三重大学

安達加弥乃 三重県立みえ四葉ヶ咲中学校

伊藤 裕介 三重県教育委員会

稲垣万優子 津市立香良洲小学校

駒田 健志 三重県警察本部(出向)

末澤 孝浩 四日市市立中部西小学校

中村 数理 四日市市立三重小学校